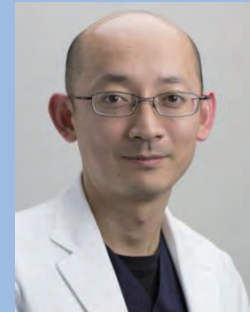


脳動脈瘤最新治療

～脳動脈瘤破裂を未然に防ぐために～

川崎幸病院
脳神経外科/脳神経外科部長
脳血管センター長

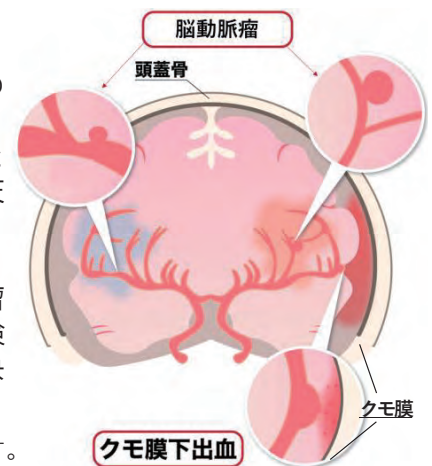
壺井 祥史（つばい よしふみ） 医師



脳動脈瘤とくも膜下出血

脳動脈瘤とは、脳の血管（動脈）にできる「こぶ」のことです。この「こぶ」は、全人口の3～5%の人に存在するといわれています。脳動脈瘤は症状がないことが多いため、検査を受けて発見する 경우가ほとんどです。全ての脳動脈瘤が破裂する訳ではなく、破裂しないまま天寿を全うする方も多くいます。しかし、いったん動脈瘤が破裂し、くも膜下出血※を発症すると約半分の患者さんが死亡、または寝たきりになるといわれています。破裂率が高いといわれている大きな動脈瘤や形の悪い動脈瘤は治療の検討が必要です。も膜下出血を起こす危険性と、処置の危険性を考慮したうえで脳動脈瘤を処置するか否かを決めることが大切です。

※くも膜と呼ばれる脳表面の膜と脳の空間に存在する血管が切れて起こる出血です。

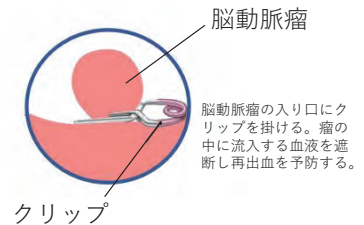


脳動脈瘤の治療は？

現在、脳動脈瘤の治療は開頭手術（頭蓋骨に穴をあけること）による「クリッピング術」と血管内に特殊な機材を通して治療する「コイル塞栓術」があります。最近では体の負担が少ない「コイル塞栓術」のカテーテル治療が多くなっていますが、脳動脈瘤の場所や形によってリスクの低い治療を選ぶことが大事です。

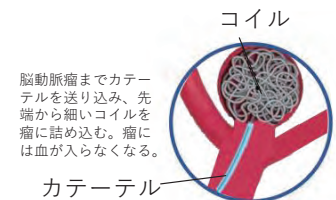
■クリッピング術

脳動脈瘤の根元を金属でつくられた小さな洗濯ばさみのようなクリップではさみ、動脈瘤への血流をとめる方法です。最近では最小限の皮膚切開の開頭範囲で治療を行うことができるようになりました。脳の表面に近い動脈瘤や動脈瘤の根元が広い場合はクリッピング術が適していることが多いです。

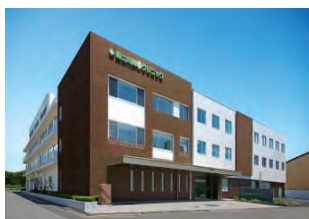


■コイル塞栓術

頭を切らずに太ももからカテーテルを挿入して治療を行います。脳動脈瘤の中に細いカテーテルを入れ、特殊なコイルで動脈瘤の中を充填します。体への負担が少なく、入院期間も短い（最短4～5日）ことが特徴です。



診療のご案内



社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

電話予約受付時間

月～金8:00～20:00 土 曜8:00～17:00 日 曜8:30～17:00 祝 日8:30～17:00

受診予約 ☎ : 044-511-2112